

2021年の今年、76年目の沖縄の戦争を知り考える

沖縄の戦争展

ウェブ講演会

6/12(土) 10時30分~12時

戦没者遺骨を家族のもとへ
～ 遺骨が混じる米須の土を
辺野古基地の埋め立てに使うな! ～

講演者: 沖縄戦遺骨収集ボランティア
「ガマフヤー」代表・具志堅 隆松 さん
聞き手: 毎日新聞学芸部記者
栗原 俊雄 さん

講演会・茶話会の参加方法
インターネットを使ってご自宅
から参加できます。QRコード
を読み込むと申込サイトへつ
ながります。(詳細裏面)



茶話会は、展示会場の近くに
視聴会場をご用意します。
お申込み方法は裏面へ。
(定員あり・ご予約ください)

ウェブ茶話会

6/19(土) 13時30分~15時

吉村章さん(102歳)
大阪市在住・元日本兵

いったんほんまに僕は死んでもうたみ
たいです。もう頭やられるわ、足もや
られるわって。鉄兜の上このくらい穴あ
きますんで。ダダダダーと血が流れて
きてなあ、ここへ三角巾持ってました。
それをぎゅーと締めて、鉄兜しめて、ま
た、後方へ下がりましたんや。

ウェブ茶話会

6/20(日) 13時30分~15時

中山きくさん(92歳)
那覇市在住・白梅学徒隊

結局食事の世話と、排せつ物の片付
け、あとは汚物ですね。沖縄戦当時は
梅雨の真っ最中。運ばれてきた兵隊さ
んは2、3ヶ月上から下まで変えない
でしょ。もういっぱいシラミでしたから
ね。病院に入ってもそのままですよ。濡
れても体温で乾かす。



展示

6/18(金)~20(日)
10時~17時

文京シビックセンター
1階 展示室2

東京メトロ丸ノ内線・南北線
「後樂園駅」直結
都営地下鉄三田線・大江戸線
「春日駅」直結

- ・沖縄戦体験者の証言パネル
- ・当時の米軍撮影写真
- ・遺骨収集で収容された物品
- ・具志堅さんの講演の再放送

米須の体験談

久保田千代子さん
(摩文仁国民学校教員)
「一般人は出なさい。自分達
は戦争をするんだ、あなたた
ちは何もできないでしょう。邪
魔だ」日本の兵隊は壕という
壕から住民を追い出した。仲
良くやっていたのに、戦争に
なってみたら住民を守らない。
おぶっていた長男がガラッと
なって、「この子ダメになっ
てるよ」というわけ。ああもう何
とも言えない。道に置いて、これ
だけ。逃げなければまたやら
れるから、ただ置いただけ。

玉那覇香代子さん
(当時10歳)
妹と石ころ遊びしていたら、
艦砲射撃。妹がやられた。私
には分からなかった。「次あ
んたでしょう？」って、でも妹
は倒れて返事も何もなかつ
た。父親が帰ってきて、妹が
動かないと言ったら「やられ
たんだなあ・・・」と。妹を山に
葬った。避難しようと父親と
歩いていたら、また、ヒュード
ーン。父親を見失ってどう
なったか分からない。そこか
ら私はひとりぼっち。

神谷依信さん
(一中鉄血勤皇隊、野戦重
砲兵第23連隊)
軍の経理部が作ったお手
製の手榴弾を2つずつ渡さ
れ出発。小さい壕を見つけ、
入ることにした。4、5名しか
入れなかったが、押し合い
へし合いで12名入った。す
ると、米軍が匍匐前進で近
づいてきたのが見えた。そ
して、2つの手榴弾を投げ込
まれた。3人は即死、1人は
腕を負傷。自分は表に近い
3人を盾にして生き残った。

ご参加・ご来場をお待ちしています 【参加無料】

主催：戦場体験放映保存の会（戦場体験史料館 <http://www.jvwap.jp>）

ウェブ講演会（6/12土 10時半～12時）

◆参加方法（ネット限定）

インターネットに接続したパソコンまたはスマートフォンが必要です。
（ウェブ会議ソフトのZoomを利用します。）
参加ご希望の方は戦場体験史料館・電子版
<<https://jvvap.jp>> の特設ページから
ご登録ください。

特設ページへのリンク⇒
（QRコード）



◆講師：具志堅隆松さん

1954年、沖縄県那覇市生まれ。
沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表。1982年以
来遺骨収集活動を続けている。2011年、吉川英治文化賞を
受賞。著書に『ぼくが遺骨を掘る人「ガマフヤー」になったわけ』
遺骨が混じる米須などの土砂を辺野古基地の埋め立てに利用
することに反対して今年3月にハンガーストライキを行った。

◆聞き手：栗原俊雄さん

1967年生まれ、毎日新聞記者。
戦没者遺骨の未帰還問題、民間戦争被害者の未補法問題、
シベリア抑留など日本の戦争に関する諸問題を追及し続ける。
著書に『遺骨 戦没者三〇万人の戦後史』など。
第24回「平和・協同ジャーナリスト基金賞」奨励賞を受賞。

ウェブ茶話会（6/19土・6/20日 13時半～15時）

◆参加方法1（ネットで参加）

インターネットに接続したパソコンまたは
スマートフォンからご参加いただけます。
参加ご希望の方は戦場体験史料館・電子版
<<https://jvvap.jp>> の特設ページから
ご登録ください。

特設ページへのリンク⇒
（QRコード）



◆体験者：吉村章さん（6/19土 13時半～15時）

102歳、大阪市在住。元日本兵。
1944年12月、2回目の召集。独立混成第45旅団独立歩兵第
273大隊で沖縄へ。艦砲射撃で頭を、迫撃砲で手足を負傷。壕
での生活を続け、8月15日に投降。

「いったんほんまに僕は死んでもうたみたいです。もう頭やられる
わ、足もやられるわって。鉄兜の上この位穴あきますんで。だだ
だーと血が流れてきてなあ、ここへ三角巾持ってました。それをぎ
ゅーと締めて、鉄兜しめてまた、後方へ下がりましたんや」

◆体験者：中山きくさん（6/20日 13時半～15時）

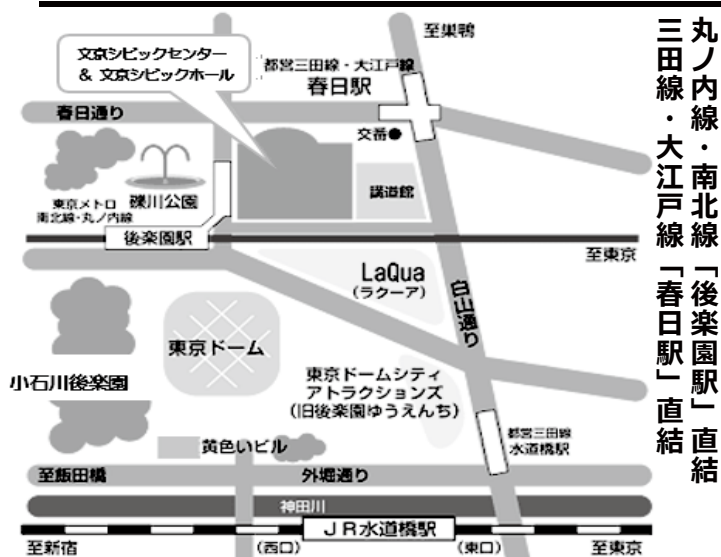
92歳、那覇市在住。白梅学徒隊
沖縄県立第2高等女学校生徒。第24師団第1野戦病院に配属、
富盛（現八重瀬町）の野戦病院壕などで勤務。6月4日解散命
令が出て、以後南部を逃げ回る。7月に米軍の捕虜となる。

「あの村この村、もうあっちこっち歩いてます。村に何日間か潜んで、
6月からは壕にもガマにも入れなかった。ただ木が生い茂って上か
ら見えなければいいと、そこに潜んでるだけ。で何日が経ったら、他
の村に行くと。行ったり来たり、行ったり来たりしてたんですね」

展示会場 および ウェブ茶話会の視聴会場

展示会場

文京シビックセンター
東京都文京区春日1-16-21



茶話会視聴会場

後楽園カンファレンスルーム
（読売理工医療福祉専門学校内）
東京都文京区小石川1-1-1



主催

公益社団法人マスコミ世論研究所内

戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2

TEL 03-3916-2664（火木土日祝 10時～17時）

FAX 03-3916-2676

e-mail senjyou@notnet.jp

戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>